

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 年月日					回収数 13名	
放課後等デイサービス チャレンジ		利用児童数 2025/12/10 16名					回収数 13名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13				・実際に見て、広いスペースが確保されていると思いました。		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	2			・実際、多くの職員の方が携わってくださっていると感じます。 ・色々な職種の方が同じ施設で働いて、どの方も優しく接してくれて、安心します。	配置基準は満たしていますが、少ないと感じる保護者のご意見を真摯に受け止め、職員間の協力体制をより強固にし、支援に当たります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	3			・建物がバリアフリーで、使いやすいと思いました。 ・単純な構造でわかりやすいと思います。 ・子どもが「何を言われたか分からない」という事がある。	利用者様それぞれの障害特性を理解し、一人ひとりに伝わる方法を精査したうえで説明責任を果たせるよう、より一層職員の技術向上に努めます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13				・片付けがしやすいように工夫してあると感じました。 ・感染症が流行ることが無く衛生的だと思いました。		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1			・モニタリングを行い、それに沿った支援を受けています。		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	1			・合っていると思います。 ・無理のないプログラムが多く、子どもが楽しく通っています。		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	1			・モニタリングの内容が反映された支援計画になっていると思います。		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	2			・モニタリングでの話し合いの中で相談した内容が反映されています。 ・「本人支援」と「家族支援」は必要と思ったのですが、「移行支援」ははいらないと思いました。	利用者様の今後に関する、様々な可能性を鑑み「移行支援」も含めて計画を作成しています。「放課後児童健全育成事業」への移行だけではなく、進学も視野に入れ支援に当たっています。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	2			・計画にそっているとおもいます。 ・毎日、全ての計画内容が反映された支援が行われているか疑問もありますが、概ね計画に沿った支援が行われていると思います。	計画内容によっては、毎日実行することが出来ない項目もありますが、出来る限り全ての項目が満遍なく実行されるようにスケジュールを調整いたします。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1			・イベントも多くあり、工夫が多いと思います。 ・利用日により参加できない日もありますが、色々な活動を計画して頂いています。		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2			・イベントを通して、交流があります。 ・タイミングが悪く、交流の時に利用が無くあまり参加出来ていません。 ・同じ法人内での交流は多いですが、違う施設とあまり交流しているイメージがありません。	・今後は、当法人以外の地域の学童クラブや施設との交流も行う機会を増やして行けるように計画を作成していきます。	
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13				・書面を通じて、また、契約時に説明を受けました。		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13				・計画を決定する際に「案」の段階から参加しました。モニタリングの際にも説明を受けました。		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2			・給食相談会や家族参加のイベントを通し、情報提供や研修会が行われています。 ・給食相談会には、日程が合わず参加できませんでした。	・今後は保護者の方の不安や心配事が軽減できるように出来る限り保護者様参加型の相談会やイベントの機会を増やしていきます。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	11	2			・連絡アプリやモニタリングの際にその日にあったことを伝えてもらっています。 ・迎えに行くとその日に状況を教えてくれます。		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1			・モニタリングの際に相談に応じてもらっています。 ・困りごとを相談すると専門職を交えてアドバイスをいただいたり、支援に取り入れていただいたりしています。		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	1			・丁寧にコミュニケーションをとっていただいています。	・職員の主観ではなく本人や保護者様のお気持ちに寄り添った支援が出来るよう技術向上に努めていきます。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	5			・給食相談会などのイベントを通して家族が参加でき、交流できる機会があります。 ・保護者が交流できる機会は少なく参加したことがない。兄弟同士の交流が出来るかと聞いていたことはない。	・保護者会の頻度などについて、回数が少ないのご意見を多数いただいておりますので、今後は出来る限り保護者様やごきょうだい参加できる機会を設けていきます。		

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12				・相談や申し入れをしたことはありませんが、体制があることは契約書時に把握しています。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	2			・連絡アプリでの何時でも連絡できます。 ・子どもが時々、先生が何を言っていたか覚えていない・分からないということがある。	・利用者様一人ひとりのお気持ちに寄り添い、わかりやすい言葉や方法でお伝えできるよう支援技術の向上に努めています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13				・連絡アプリにて配信されています。中身も良い物です。 ・連絡アプリで毎月送られてきて観ています。写真が多く楽しみにしています。	・今後ご家族様に喜んでいただけるよう、利用者様の様子を分かりやすくお伝えできるように努めていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13				・個人情報の管理について不安に思ったことはありません。	・今後個人情報取り扱い、プライバシー保護には十分気を付けて参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	3		1	・訓練に参加したので、引き渡し方法は把握しています。 ・マニュアルは知っているが、周知されたと感じていない。] ・利用日にあらず、引き渡し訓練に参加できなかった。	・今後は訓練の頻度を多くし、全員の方に参加して頂けるように調整して計画し実施致します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1			・おたよりに訓練の様子が掲載されています。 ・心肺蘇生や避難訓練は行われていると思いましたが、救出の訓練は行われていないと思いました。	・今後は救出の訓練も、専門家の指導を受け行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12			1	・実際に拝見する限り問題は感じません。 ・比較的、子どもが自由に行き来することが出来る様になっていて、目が届いているのか心配になることはありますが、今のところ大きな問題になったことはありません。	・インクルーシブに様々な人と関わり、人とのコミュニケーションを大切にしよう支援を行っております。又、身体拘束及び行動制限を行わない方針でご支援させていただいております。館内は各部署に職員は配置され、防犯カメラも設置しておりますが、ご心配等がある場合はご相談をお受けいたします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1			・子どもの事故が発生したことはありませんが、体制があることは把握しています。 ・小さなトラブルや怪我や体調の変化（発熱）など、連絡をいただいています。	・些細なトラブルや怪我等も、保護者様に詳細を説明しております。ご心配やご相談も随時お受けしております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13				・不安を訴えることはありません。 ・不安に思うことは本人が職員の方に相談したり、保護者が電話や連絡アプリで相談しています。 ・不安があるということもあるが、相談すると解決してくれるので安心して通えている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	2			・学校があり、疲れているときもあり、毎日ではありませんが、疲れていない時は楽しんでいるようです。 ・友達とうまくいかないこともあるようですが、基本的に楽しんでいるようです。	・個々の心身の状態や、他の児童との関わりに留意しながら、状況に合わせてご支援致します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1			・問題は感じていません。 ・もう少しできるようになると良いと思うところもありますが、子どもに合わせてくれるのだと思います。	・利用者様の発達に寄与できるように支援者の専門的知識・技術の向上に努めていきます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス チャレンジ		
○保護者評価実施期間	令和7年11月20日		～ 令和7年12月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	令和7年11月20日		～ 令和7年11月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・特別養護老人ホームとの複合施設となっているため、老人ホームの入居者様やそのご家族等、様々な人との交流が出来ます。	・双方が自由に行き来出来る様に、館内はバリアフリー構造となっています。 ・季節の行事に合わせて交流し、老人ホームの入居者様と触れ合う機会を設けています。	・今後は地域住民や他の事業所等との交流の機会を増やし、他者と関わる機会を提供致します。 ・現在交流が実施されていない老人ホームとの交流の機会も設けていきます。
2	・広いスペースで伸び伸びと活動して頂いています。 ・安全に配慮したテラスで年間を通して屋外遊びが出来ます。	・出来る限りスッキリとした状態になるように環境を整え、安全に活動できるように努めています。 ・清掃専門職員による毎日の清掃と衛生管理を徹底しています。	・野生の動物の出没や外気温等の環境が整い、安全が確保された場合は、近隣の公園や散歩等、屋外活動も積極的に取り入れていきます。
3	・利用者様同士の交流が盛んに行われ、楽しみながらコミュニケーション手段を学ぶことが出来ます。	・利用者様同士の関係やコミュニケーションを大切にし、自己解決能力や援助希求力を高められるような支援しています。	・言語・非言語的コミュニケーションについての支援に向けて、支援者に対し発達支援技術の向上に努めます。 ・楽しみながらコミュニケーション方法を学ぶことが出来るようにSST等を取り入れていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・広いスペースでの支援となり、学習支援等の個室利用も可能ですが支援室内は静養場所以外はワンフロアとなっております。狭いスペースが落ち着く方にとっては、不安定要素になる場合があります。	・静養室以外の個別の空間を要望される利用者様もいらっしゃいますが、建物の構造上静養室以外の個室を支援フロア内に設置することが難しく個室が必要となる場合別室のご利用となります。	・支援フロア内に間仕切りを立て、個室に見立てた空間をご準備するなどして、個室様の空間を使用して頂けるように致します。
2	・野生動物の出没が頻繁であるため、近くに公園がありますが、安全上あまり近隣での戸外活動が出来ない状態です。	・自然豊かで、積雪も少ない土地であることから野生動物も生きやすい環境であることなどが関係していると思われます。	・送迎など、車に乗降する場合は玄関口に駐車し安全に移動・入館できるようにサポートしています。 ・施設内のテラスにて安全な環境の中で身体活動を行っています。テラスには出来る限り物を置かず身体を動かすのに適した状態に整備し、室内にも自由に行き来できるように動線を確保しています。また、職員が常に見守りを行い安全に十分配慮する形で支援に当たっています。
3	・父母の会の活動や、保護者会の開催頻度が少なく、参加できない保護者の方がいます。きょうだい同士の交流の機会も少なく、ご家族様への支援が行き届いていないのが現状です。	・サービス提供時間との兼ね合いから、計画を立てづらい状況になっています。	・長期休みなどを利用し、ご家族が交流できるような機会を提供致します。 ・施設内の祭典やイベントなどについての情報提供を幅広く行い、沢山のご家族様にご参加いただきご家族様同士の交流の機会を設けていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス チャレンジ		公表日		令和8年3月	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		広いスペースを確保しておりますが、可動式の家具を使用し支援に合わせてレイアウトを工夫しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		放課後等デイサービス運営基準の人員配置基準に基づき適切に人員配置を行っています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		館内全てバリアフリー構造となっています。スッキリとした環境作りを心掛け、分かりやすい構造になるように工夫しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		清掃は清掃専門職員により毎日行っています。活動や支援に合わせてアレンジしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		学習や集中が必要な場面に対応出来るように必要に応じて個室を提供しています。	個室が3ヶ所のみで同時使用できる人数が3名までとなっております。同時に個室利用を希望される方が3名を超える場合は、時間差でご利用いただいております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		毎日のミーティングや支援者会議を設け、目標を共通理解して業務を行い、定期的に振り返りを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者様の評価表の評価及び日頃のご意見に対し職員間で業務改善を図り、改善に至らないケースに関しては、関係者と連携を図りながら業務改善に努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日のミーティングに加え毎月1回の定例ミーティングにより職員の意見を取り入れ、業務の遂行及び業務改善を行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		第三者評価は現時点では行っておりません。必要に応じて検討いたします。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		月に一度研修を行い、児童の障害特性の理解や衛生管理等に役立てております。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムの規定に則り作成し公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		モニタリング会議を設け、利用者様や保護者様のご意見を伺い計画に反映しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		モニタリング会議前に支援者会議を開催し、既存の個別支援計画の進捗状況の確認を行い計画案を作成し、それに対しての検討会議を設け全職員で実行計画を作成し職員間で共通理解した上で支援しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		毎日のミーティング時に計画に載っている支援内容を確認し、支援に当たっています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		定期的にアセスメントを行うことに加えて日々の行動を観察し記録に残しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		個別のニーズを把握した上で、各支援や5領域を踏まえ、当施設で実際に行う支援を具体的に設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		日々のミーティングにてアイデアを出し合い、プログラムを構成しています。		

又 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		5領域に対応した療育トレーニングを組み合わせ、バリエーションを持たせて活動しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別活動と集団活動の両方が取り入れられるように、個別支援計画に盛り込んでいます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		始業前のミーティングにて必ず申し送りや当日の利用児童及び欠席児童についての確認と支援内容について話し合っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		終業後のミーティングにて振り返りを行っております。又当日就業していない職員にも情報共有出来る様に特記事項や活動内容などを記録し確認できるようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		個別支援計画の進捗状況と当日の支援内容について個別の記録をとり、集団活動に対しては療育日誌に記録しています。又、特記事項については別途記録し業務改善及び支援技術向上に役立てています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6ヶ月に1度のモニタリングに加え、必要に応じてモニタリング会議を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6		利用者様の発達状況に合わせて、総合的に支援が展開できるように組み合わせ実践しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		出来る限りご本人にモニタリングに参加していただき支援内容を決定しています。又、余暇時間や集団活動に対しては出来る限り利用者様に決定して頂いています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者及び直接支援担当者が出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要に応じ、関係機関と連携しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		FAXや電話、メール等により連絡調整の窓口を設けて対応し情報共有しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	担当者会議を設け情報共有しています。	連携が不十分な部分に関しては今後必要に応じて連携し情報共有致します。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		6		該当者なし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		常に連携を図り利用者様や地域の状況について情報共有し、研修に参加するなど支援者の技術の向上に努めています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		長期休暇などに積極的に交流の機会を設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		地域の児童発達支援管理責任者会議に参加し、情報共有や、今後の課題、不足している社会資源等について話し合いを行っています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		保護者様との連絡アプリや送迎時等に、その日の状態や行った活動などを伝え、利用者様の現状について共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		保護者様参加型の公開支援や作業療法士や理学療法士等のアドバイスも含めた相談会を行い、家族支援を行っています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		利用開始時に説明し、常時間閲覧できるように設置しています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		個別支援計画案を作成し、ご本人や保護者様の意見を伺い計画を作成しています。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		個別支援計画作成後、丁寧に説明しご納得いただいたうえで署名して頂いています。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		相談窓口を設けご相談に応じ、ご要望があれば専門職と連携又はリファーします。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3		今後必要に応じて保護者様の活動支援等、検討いたします。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情解決対応職員を配置し迅速に苦情解決が出来るように努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		月初めのおたよりの配布や連絡アプリにより情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報保護についての研修を受講し個人情報の取り扱いについて全職員で共通理解しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		それぞれの利用者が理解できるように、分かりやすい言葉や情報伝達に有効な方法でコミュニケーションをとっています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	施設で開催される祭典等に地域住民もご参加頂いています。	今後はより多くの行事を計画し、地域住民との交流が盛んに行われるようにしていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各マニュアルを作成し、定期的に訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		業務継続計画を作成し、定期的に見直しを行っており、定期的に訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		相談支援専門員からの基本情報やご家族からの情報提供を受け、投薬情報や病状について把握し、職員間で情報共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		アレルギーがある利用者様に対しては、医師の指示の他に、ご家族からの情報提供も受け細心の注意を払い食事及び活動の提供をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		置き去り防止マニュアルの作成や置き去り防止装置の搭載により、車内や出かけ先等の置き去り防止を徹底しています。安全管理や衛生管理のための研修を定期的に開催しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画に基づいた情報を個別支援計画に掲載し承諾していただいています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		事故対応委員会に参加し、ヒヤリハット事案に対しては再発防止のための検討会議を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止委員会に参加し、事例報告や発生防止のための会議を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		基本的に身体拘束は行わない方向で支援しています。	今後やむを得ず身体拘束が必要と判断された場合は、保護者様に承諾を得たうえで計画に記載します。	